

令和元年度 沖縄県振興審議会  
第1回文化観光スポーツ部会 議事要旨

令和元年8月9日(金) 14:00~16:30

議題

【沖縄21世紀ビジョン基本計画（沖縄振興計画）当総点検報告書（素案） 第2章 沖縄振興の現状と課題について（文化観光スポーツ部会関連）】について

- 「P50〈県民意識調査〉質問項目：県民が文化芸術にふれる機会が増加していること」について、この調査結果に年齢別も載せるべきでないか。年齢別を出すと10年後の後々が見える。
- P49にしまくとっばの記載があるが、しまくとっばといっても、地域ごとに方言があり、綺麗なしまくとっばや汚いしまくとっばもある。そういったものは、どこで触れあえるのか、例えば地域に戻った場合に、そういった場所があるのか。そこらへんの基準というものを少し示したほうがよい。
- スポーツアイランド沖縄という大きな看板を出しているのに、第2章にもスポーツについて触れるよう目次に追加してほしい。
- 一次振計から三次振計の基本的なスローガン、その時のコンセプトをまとめた資料を作ってみてはどうか。P8記載の今後の沖縄をどのように作っていくかという6つの視点を考える上で参考になるのでは。
- P159の入域者数と観光収入の表があるが、ここにぜひ県のGDP5.4兆と県民所得を指標として入れるべきではないか。県の観光入域者数が伸びれば県のGDPも6兆円になるし6.5兆円になる。県民所得220万が基幹産業観光が伸びると250万が300万に増える。観光が伸びて県のGDPと県民所得が伸びなかったら、それは基幹産業とは言えない。
- P8~10で今後の沖縄振興の基本的な考え方の6点の中の5点目にSDGsについて新しい視点が入ってきていて、グローバル化の進展や第4次産業革命の進展を産業の振興に生かす記載もある。ただ、IoTやAIの進展によって、国民、世界を含めライフスタイルが変わると言われている。そうした中で沖縄の振興をどう考えていくかという視点は、従来の海洋島嶼だとか、米軍基地、人口減少うんぬんと匹敵するぐらいの社会変化だと言える。よって、産業振興の視点だけではなくて大きな時代の流れの中で、次の沖縄振興の方向性は、産業だけではなくて教育にも福祉にも医療にもどう生かすかといった視点も入れるべきではないでしょうか。

以上